



インスタグラム
始めました



山田ひときの略歴

△昭和36年4月16日平群町に生まれる
△平群西小卒業 △平群中学校卒業
△県立高田高等学校卒業
△摂南大学 建築学科卒業
△一級建築士
△スキーバダイビング資格取得



○平群町議会議長
○総務建設委員会 委員
○財政検討特別委員会 委員
○下水道事業特別委員会 委員
□佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
奈良県後援会平群支部長

5月8日に臨時議会が開催され、5度目の議会議長に就任させて頂く事となりました。
4年ぶりに議長に就任させていただき、この4年間の様々な人間関係の模様、強欲・私欲の人間関係の模様、強欲・私欲の露呈による政治信条の豹変を目のあたりにし、改めて私自身の使命・役割意識の重要さを再認識・再確認するとともに、より身の引き締まる思いで一杯です。
日常生活では、5月8日よりコロナ感染症が、法的に2類相当に引き下げられ、これまで当からインフルエンザ同様5類に引き下げられ、これまでの黒字となりました。

また、地方債残高（借金）については、令和3年度末の約138億円（普通会計）から令和4年度末で約128億円となりました。

財政再生団体に陥る危機は引き続き、回避できている状況であり、令和3年に奈良県よりが発令された当時の危機的財政状況からは改善、好転している状況です。

令和4年度末の 財政状況

厳しい中でも若い世代の定住促進の取り組みを

しかし、まだまだ地方債残高（借金）が高く、起債償還（借金の返済）が財政を圧迫している現状であり、引き続き奈良県より『重症警報』が発令されている状況に変わりなく、財政再建は今後も最重点課題として取り組んでいかなければなりません。

そのような中でも魅力あるまちづくり・若い世代の定住促進を重要な課題として取り組んでいくことが重要であると考えます。



発行／山田ひとき後援会
広報部
令和5年8月20日発行
〒636-0914
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
TEL0745-45-4845/FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.ken.ne.jp

将来を見つめ、活力あるまちへ！



こんにちは、山田ひときです。

4月の町議会議員選挙では、大きな得票、ご支援を賜り6期目の当選をさせて頂く事ができました。

私自身、これからも『聞く・描く・動く』を信念に『やる気・元気・ひとき！』でこれまでの取組同様、『若い世代の定住促進』をテーマとして『将来を見つめ、活力あるまち』になっていくよう、頑張って取り組んでまいりたいと思っています。何卒よろしくお願ひ致します。

5度目の議長に就任させて頂き

5月8日に臨時議会が開催され、5度目の議会議長に就任させて頂く事となりました。

4年ぶりに議長に就任させていただき、この4年間の様々な人間関係の模様、強欲・私欲の露呈による政治信条の豹変を目のあたりにし、改めて私自身の使命・役割意識の重要さを再認識・再確認するとともに、より身の引き締まる思いで一杯です。

一方、平群町の財政は、未だ

光明が見えず、『重症警報』が

奈良県から引き続き発令され、非

常に厳しい状況が続いています

が、平群町は緑豊かな魅力ある

環境や充実した買物環境を活かし、公共交通の利便性をより高める事等により、若い世代に好まれるまちとなる大きな可能性を持っています。

が、平群町は緑豊かな魅力ある

環境や充実した買物環境を

一般質問(要旨)



令和5年3月議会



若い世代の定住促進と近鉄生駒線の利便性向上協議について

議員1年目の平成15年12月議会にて近鉄生駒駅発王寺行きの最終電車をより遅い時間に運行頂く要望をする必要について初めて取り上げ19年が経過しました。平成15年当時は難波23時10分発の奈良行き快速急行に乗車しなければ平群町まで生駒線で帰りつけないと言う状況でした。その後、これまで合計7議会に於いて取り上げてきました。

また、令和元年12月議会に於いて全議員により決議された『近鉄生駒線1時間4本運行の再開を求める決議』としての要望書を、同年12月23日、議長であつた私を含め西脇平群町長、森三郷町長、高岡三郷町議会議長と共に近鉄本社を訪問し提出。

そして現在朝夕は1時間4本の運行がなされ、最終電車についても、生駒発王寺行き最終を遅くして頂き、難波発23時34分発の西大寺行き準急に乗車する

と生駒発王寺行き最終の00時03分発に乗車できるようになります。

年に1回程度の割合で開催されてきた近鉄との現在の協議内容は、平成24年9月に6自治会より提出された竜田川駅の待合

室設置やバリアフリー化等が主なものかもしれませんのが、難波

は利便性低下に繋っていく懸念もある。

も引き続き要望頂きたい。

人口減による近鉄利用者数減

は利便性低下に繋っていく懸念もある。

も連絡、乗り継ぎが出来るよう

にして頂きたいと思うのですが、

の向上は、これから移住しようとする方々の居住地の選定条件として欠かせない。若い世代の

定住促進政策の生命線・絶対条件であるとの考えは同感です。

①近鉄生駒線の利便性向上については若い世代の定住促進政策の生命線・絶対的条件であると思われるが、町の考えは?

②朝夕の1時間に4本の確保について、町の考え方と今後の協議方針は?

③王寺行き最終電車を、難波

について、町の考え方と今後の協議方針は?

④今回創設された『平群町結婚生活支援補助金』は近鉄電車の利便性向上と並び、定住促進にむけて追い風の新規政策と期待し、継続して実施頂きたい

⑤生駒発王寺行きを10分遅らす要望についても申し入れると

まいります。

⑥生駒発王寺行きを10分遅らす要望についても申し入れると

まいります。

私がこれまで提案してきた新

度も同様ですが、事業実施になれば広く浸透し効果が表れるた

めにも様々な補助事業や町費の捻出も含めた検討も行いながら

であっても、事業継続する事で、

町の特色としてアピールし、魅

力あるまちにしていく必要があ

ると考える。

町営住宅は昭和29年に建設が

始まり実に約70年近くも経過し

ている住宅もあり、それらの耐

用年数の経過した木造の町営住

宅については、老朽化が著しく、

維持補修、改修には多額の経費

が必要で、建替えも困難な状況

であることから、早期の老朽木

造住宅の解消と、入居者の居住

の安全確保の観点から空き家となつた他の公営住宅への特定入

居として平成22年度より移転を進められていますが、当該住宅

の入居者の大半が高齢者であり、

移転となれば家賃が上がり負担

が増えること、住み慣れた場所

からの移転を敬遠されることな

るが、放置しても遅かれ早かれ改

修する事が迫られる。いずれにし

ても必要になる改修工事。速やか

に空室全戸の改修を行い、空室住

宅は常に居住可能な状態にしてお

くべきであると考える。

①下垣内住宅・福貴住宅・西

宮住宅・若井東住宅・若井北住

宅・くろもと団地・若井改良住

宅・それぞれの管理戸数と入居

戸数はどのようになっているの

か?

②特定入居対象者の住宅場所

戸数はどのようになっているの

か?

①管理戸数及び入居戸数は

下垣内住宅 管理戸数9戸入居

戸数6戸。

・福貴住宅 管理戸数7戸入居

戸数9戸。

・西宮住宅 管理戸数11戸入居

戸数12戸。

・若井北住宅 管理戸数11戸入居戸数11戸。

・若井改良住宅 管理戸数54戸入居戸数46戸。

・くろもと団地 管理戸数36戸入居戸数27戸。

・若井改良住宅 管理戸数54戸入居戸数46戸。

共に近隣市町の考え方も確認の上、可能であれば共同して近鉄に要望する方向で進めたい。

④若い世代の移住・定住を目的とした新規事業であるが、事業の継続については、利用状況や補助状況を見ながら検討していきたい。

山田ひときの指摘

私がこれまで提案してきた新

度も同様ですが、事業実施になれば広く浸透し効果が表れるた

めにも様々な補助事業や町費の捻出も含めた検討も行いながら

であっても、事業継続する事で、

町の特色としてアピールし、魅

力あるまちにしていく必要があ

ると考える。

私はこれまで提案してきた新

度も同様ですが、事業実施になれば広く浸透し効果が表れるた

めにも様々な補助事業や町費の捻出も含めた検討も行いながら

であっても、事業継続する事で、